

[公開] AIの利活用に関する特別調査委員会：パネルディスカッション 「建築・都市分野におけるAIの利活用——その課題と可能性」

いま、建築学の各分野で、いわゆるAIが適用されるようになってきている。日本建築学会にて、2019年度に設置された「AIの利活用に関する特別調査委員会」では、建築学や関連研究におけるAIの利活用事例を俯瞰しつつ、AIが建築物の安全性や人々のQOLの向上に資していくために、建築学総体としてどのように取り組むべきか論点を整理してきた。

そのため、今回のパネルディスカッション(以下、PD)では、まず主題解説として、同委員会で紹介された様々な分野における示唆的なAIの利活用事例を紹介する。その後のPDでは、参加者ととも委員会で浮かび上がってきた論点について、多様な立場から考察したい。

例えば、次のような課題を俎上にのせていきたい。

- ・AIの利活用により、設計解探索の範囲・深度が高度化するなど設計支援の可能性が広がっているが、AIが導いた結果の信頼性・検証可能性を技術上、あるいは社会制度上、どのように扱うのか
- ・暗黙知から学ぶオペレーションの最適化を含め、AIの適用によって建築の使い方を革新させていく事例も数多くあるが、最適化のよりどころとなるデータが洞察したうえで収集する能力が求められるのか
- ・建築技術者とデータサイエンティストがいかに協働していくのか
- ・建築系学生へのAIに関する教育はどのように行えばよいのか

PDでの意見交換が、これらの論点を深掘りし、再整理するための手がかりとなることを期待している。

【日 時】 2020年9月9日(水)9:00~12:30 **【会 場】** オンライン(Zoom ウェビナー)

【参加対象】 どなたでもご参加ください。

【参加費】 無料(資料なし)

【定 員】 480名

【申込締切】 9月6日(日)

【申込方法】 Web 申込み ▶ <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=636886>

【問 合 先】 日本建築学会 事務局事業グループ 五領田 TEL03-3456-2051 goryoda@aij.or.jp

※開催日当日の電話対応は、9:15以降可能です。お急ぎの際は、メールでお問い合わせください。

【プログラム】 司会：山家京子(神奈川大学) 副司会：宗本晋作(立命館大学) 記録：金子弘幸(鹿島建設)

9:00 ~ 9:10	主旨説明	野城智也(東京大学生産技術研究所)
9:10 ~ 9:25	主題解説	
	1. 建築分野における AI 利用概観	井野昭夫(構造計画研究所)
9:25 ~ 9:40	2. 建築環境工学と AI	大岡龍三(東京大学生産技術研究所)
9:40 ~ 9:55	3. デザインと AI	山田悟史(立命館大学)
9:55 ~10:10	4. 建築法規と AI	武藤正樹(建築研究所)
10:10 ~10:25	5. インフラ管理における統計数理の活用	土谷 隆(政策研究大学院大学)
10:25 ~10:40	6. データ・ドリブンの都市デザイン	吉村有司(東京大学先端科学技術研究センター)
10:40 ~10:55	7. デジタルシティと AI	豊田啓介(noiz architects、東京大学生産技術研究所)
10:55 ~11:00	<休憩>	
11:00 ~12:10	パネルディスカッション	
12:10 ~12:30	まとめ	金子弘幸(鹿島建設)

【参加にあたっての注意事項】

- ・申込時のメールアドレス宛に、申込締切後、Zoomウェビナーの参加用URLをお送りいたします。
- ・視聴にはPCやタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担となります。
- ・受信映像や講演資料の保存(画面キャプチャ、カメラ撮影等)、録音、再配布は禁止です。
- ・参加用URL等をシェアすることは固くお断りいたします。各人でお申し込みください。
- ・録画配信ではございませんので、開催後の視聴はできません。
- ・Zoomの使い方・動作環境についてのご質問にはお答えできません。Zoomのアプリケーションをご利用の場合は、最新版への更新をお願いします。Zoomヘルプセンター(<https://support.zoom.us/hc/ja>)をご参照ください。
- ・参加者の環境やそのときの回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。その場合は本会では責任を負いかねますので、あらかじめご理解のうえお申し込みください。